

# ブルーウイングもじ

創学館高等学校

やまがた創造工学科

住環境デザインコース

- 畑山 瑞輝 太田 柚姫 近藤 貴柁
- 昆野 貴道 高橋 蹴人 武田 大樹

# 1. 歴史・詳細

神  
し  
5  
月  
2  
日  
と



創学館高等学校  
SOGAKUKAN HIGH SCHOOL

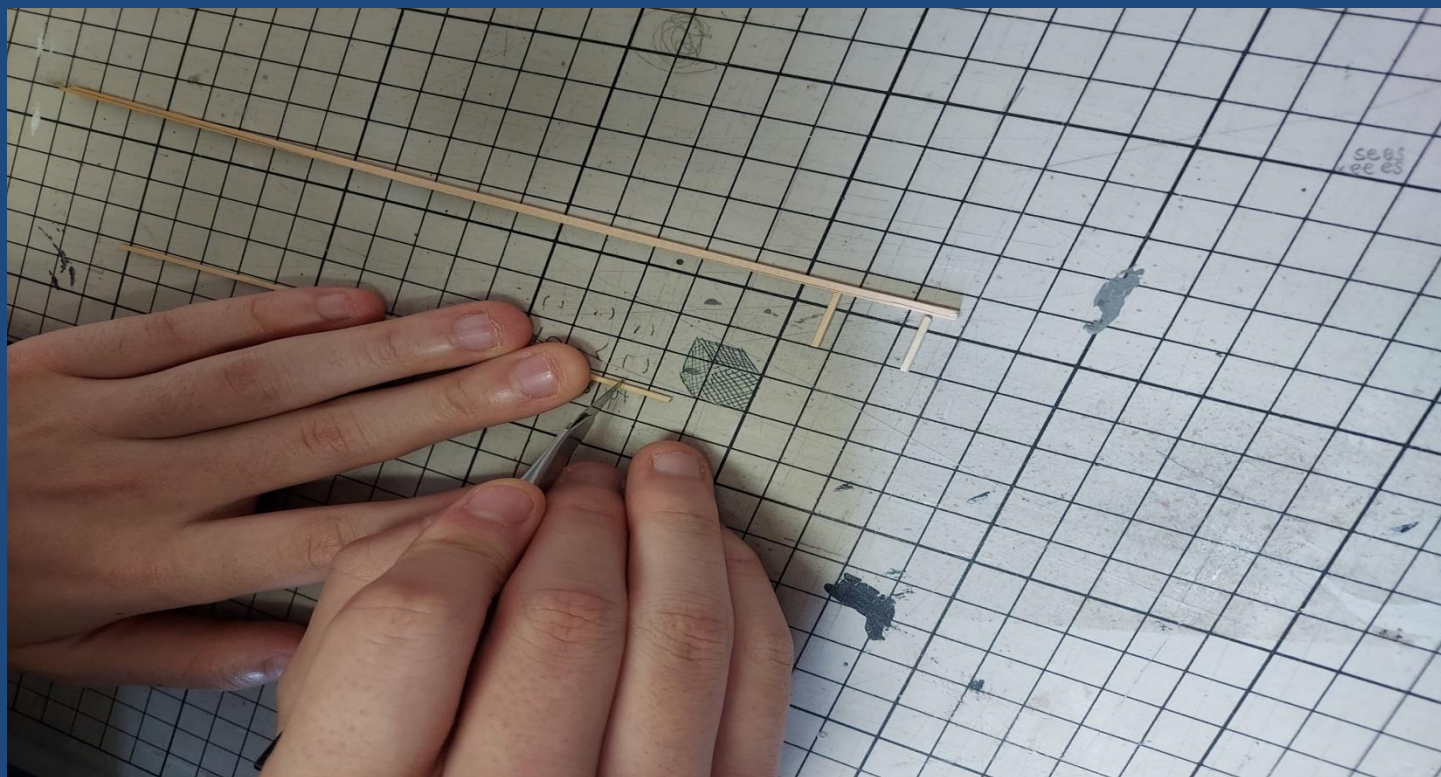
## 2. 模型詳細

班員で候補となる橋を探し普通の橋より可動橋のほうがいいという考えにまとめ、昨年の先輩の作品を参考にして作製しました。

	ブルーウイングもじ	模型 1/70
全長	108.05m	約1.0m
幅員	4.5 ~ 6.0m	約0.6m

# 3-1. 制作工程 ～手すり制作～

ヒノキ材を使用 (1×1・2×2)

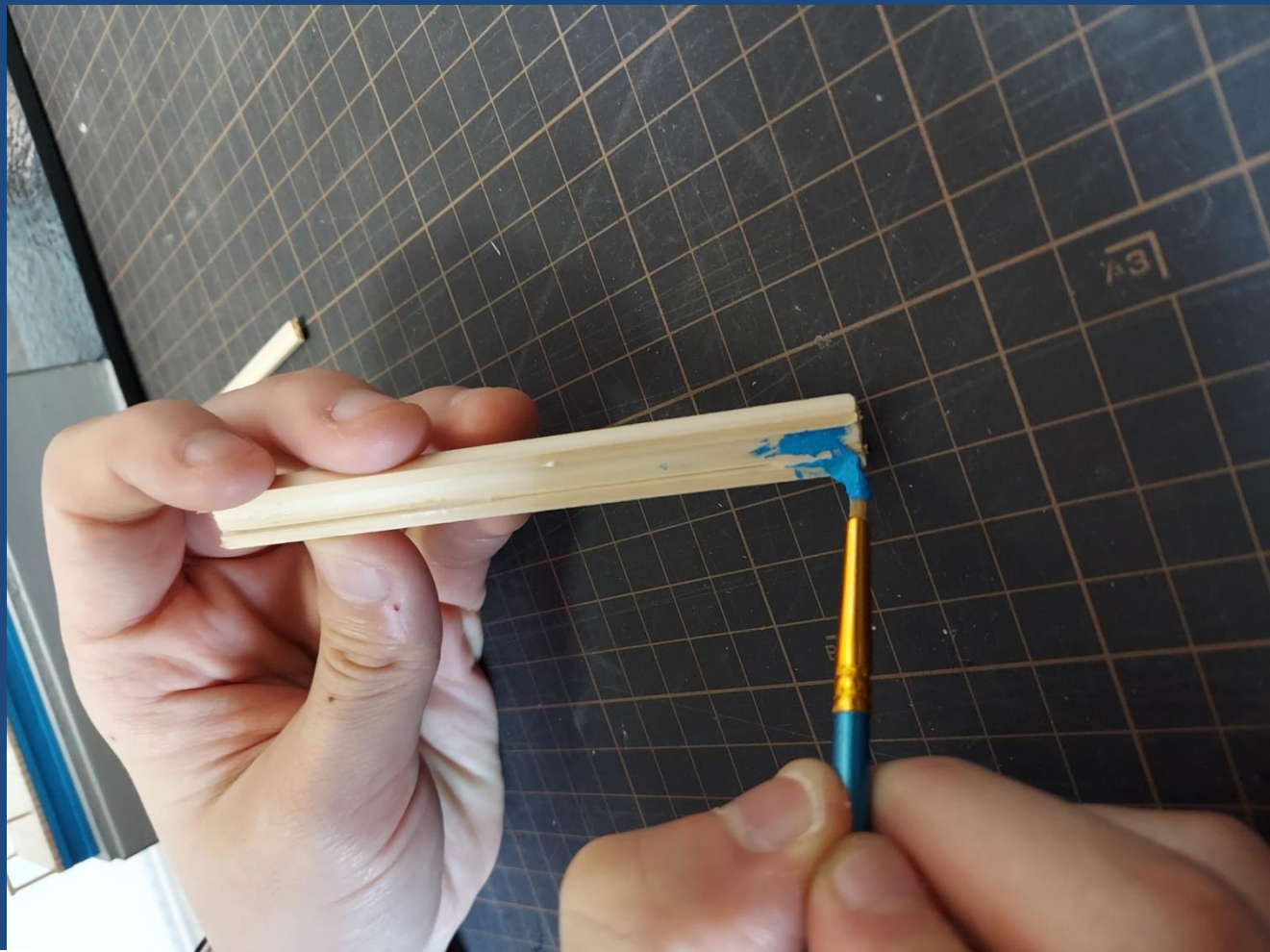


部材が小さく細かいいため大変だった

# 3-2. 制作工程

～構造部制作～

作った部材の塗装



# 3-3. 制作工程

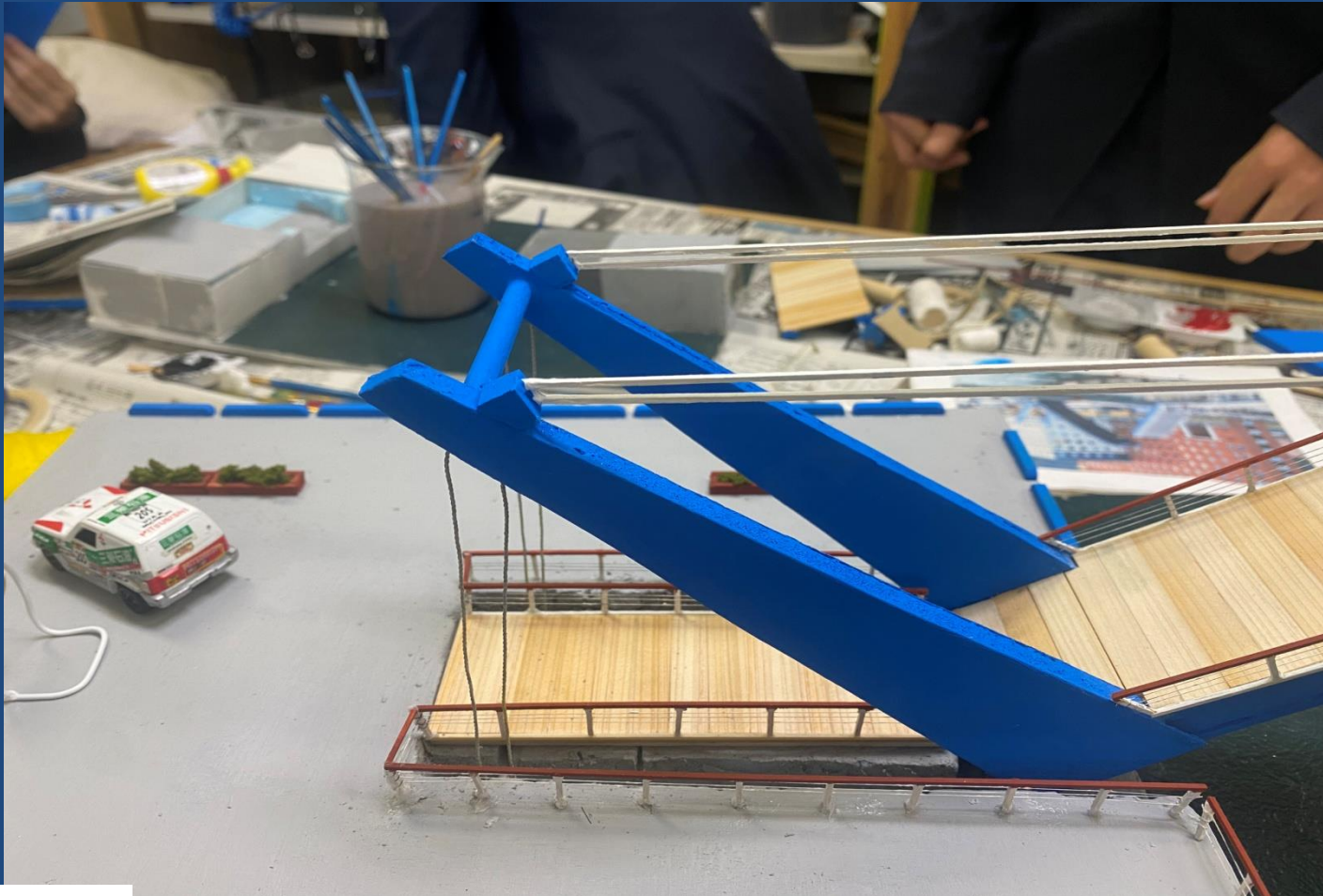
## ～土台制作～



配合設計にミスがあり、ひび割れや豆板等ができてしまい、修正の対応が難しく時間がかかってしまった

# 3-4. 制作工程 ～組み立て～

安定させるために可動部を固定し  
部材が壊れないように組み立てた



## 3-5. 制作工程 ～可動部制作～

主に**木材**を使用して製作  
ワイヤーの表現には凧糸を使用  
稼働するように製作した

簡易模型ご覧ください



# 6. 完成作品



# 7. 苦労点・工夫点

- 材料が細かく、作るのが難しいため多くの時間を部材制作に費やした。
- 部材が多く、組み立てた時歪みが生じた。
- 統一感を出すため木材中心に橋を制作。
- 一部の部材は過去の廃材を再利用した。

## 8. まとめ

- 班員との意見の対立があり時間に遅れが出てしまった。
- 可動部を展示の安定のため固定した。
- 細かい部分で雑になってしまう箇所があった。
- 作品出展ぎりぎりに完成したため、効率よく作業を行う必要があった。

ご清聴  
ありがとうございました

